

2010年12月3日

報道機関各位

藤沢市民病院長
藤沢市保健所長

市民病院におけるVRE全棟検査の実施について（お知らせ）

【保健所】

6月1日（火）に藤沢市民病院からVRE（バンコマイシン耐性腸球菌）発症の届け出を受けたので、市民病院に対して感染拡大防止の対策実施の指導を行いました。

市民病院は、発症者が出た病棟のスクリーニングを実施し、保菌者を把握するとともに、保菌者を個室に移して、厳重な隔離対応を行い、拡大防止に努め、その後も保健所と連絡を密にして対応を図ってきました。

9月末までに4名の発症者の届け出があり、保健所は10月27日（水）に市民病院に立ち入り調査を行いました。

その際に、発症者について同一の発生源の感染とは考えにくいものの、市民病院のこれまでの対応を検証し、終息に向けた抜本的な対策を検討して貰うために、外部の専門家による対策会議の開催を提案しました。

【市民病院】

市民病院は、すぐに会議開催を決定して委員の選考を行い、12月13日（月）に第1回の対策会議を開催することといたしました。

会議に先立ち、その基礎的資料とするため、現在の病院全体の状況を把握することを目的として、入院患者全員を対象とするVREスクリーニングを12月7日（火）に実施することにいたしましたのでご報告させていただきます。

検査の結果、保菌者が出た場合は感染予防対策として個室隔離とするため、空床を確保する必要から、緊急入院の制限等を行う場合もあります。

その場合は、事前に市内及び近隣市の関係病院と救急患者さんの受入について十分な調整を行い、市民の皆さんにとって支障が生じないように万全の対策を取ってまいりたいと考えています。

なお、VREの発症者につきましては、11月26日に1人発症があったため、現在は累計で5名となっています。

VREとは

ヒトの腸内にいる一般的な細菌で腸球菌（ちょうきゅうきん）という菌があります。VREとは「バンコマイシン耐性腸球菌」の略称で、本来効くはずのバンコマイシンという抗生物質の効かなくなった腸球菌のことです。

VREの病原性は非常に弱いので、健康なヒトが感染しても病気を起こすことはありません。

しかし、がんの末期や胸腹部外科手術後の患者さん、白血病、免疫不全、栄養失調などの重い病気の患者さんが感染すると病気を起こすことがあります。

VREは接触感染によって広がります。VREをもっているヒト（保菌者といいます）の便から排出されたVREが、保菌者の手からヒトへの直接的感染、あるいは医療従事者やベッド柵、トイレ、ドアノブ等の環境を介した間接的感染によって伝播していきます。

以 上